

がくどうほいくふなばし

No. 9 市連協だより

2002.2.22(金)発行

船橋市学童保育連絡協議会

(住所) 船橋市西船2-2-21

(Tel/Fax) 047-433-9266

(ホームページ) homepage2.nifty.com/fghrk/

「学童保育とは」を改めて考える機会に

2月3日(日)に勤労福祉センターで第10回「輝け!船橋の子どもたち~子育て・教育・市民のつどい~」が開催され、市連協は第5分科会「放課後の子どもたち~放課後ルーム(学童保育)で子どもたちは~」の世話人を担当しました。

この分科会には保護者14人、指導員10人、その他2人の26人が参加。はじめに、あるルームの生活の流れと、あそびやおやつなどで心がけていることについて指導員がレポートし、参加者が交流しました。

4月から初めて学童保育にお世話になるという保育園の保護者からは、おやつはどんなものか、どんな行事があるのか、習い事や宿題ができるのか、などの質問がありました。これに対して、指導員や保護者がそれぞれのルームでどうなっているか交流し、今後の課題についても話し合いました。

また、経験2年目の指導員からは、各家庭

でしつけが異なることばづかいや食事の態度についてどう指導したらよいのかという質問がでて、交流しました。一人の保護者から出された「人のうちに遊びに行ったときには、そのうちのルールを守るんだよと子どもに言っている。ルームもそうであつたらよいのでは」と意見でまとまりました。

この他、どの子ども指導員に人なつこく話しかけてくるものなのか、指導員は自分から話しかけて来ない子どもにどう接してるのか、等々についても交流しました。

学童保育の指導員という仕事の難しさや専門性も明らかになった交流会でした。



分科会の様子
「とても新鮮でたいへんよかったです」など、今後もこういう場を増やしてほしいという声も

<感想は2面に>

放課後ルームアンケートにご協力下さい!

参加者の感想から

・指導員として2年目ですが、このような集会に初参加です。様々なご意見など私の反省を含め今後の子どもたちの指導に一つ一つ大切にさせていただきたいと思います。

・何年か学童保育に世話になっているので素朴な疑問に気がつかなかった。当たり前とっていた質問に答えていただいたことが良かった。指導員さんの日ごろの様子や考えを知ることができて良かった。

1月定例会の報告(1月25日)

12の父母会から参加がありました。

アンケート項目を決定

「放課後ルームアンケート」は、来年度の要望項目を取りまとめるために使います。

回答は、市連協まで郵送かファックスで。市連協のホームページからも回答できます

各ルーム・クラブから

葛飾放課後ルームの父母会は、施設の移転の要望書を市に出しました。

高根第一放課後ルームでは、4月に分離する高根第三放課後ルームの施設説明会の開催を父母の代表が再度申し入れています。

その他、保護者会の様子、もちつき・忘年会・新年会等の父母会行事、が出されました。

ほのぼの保育報告

2日間かけてダンボールの基地・お家づくりをしました。1ヶ月前から予告していたので、2~3日前から「もう設計図ができているんだ」「ダンボール、何個使っているの?」「ちゃんと一緒に作りたい」などと、やる気満々の子どもたちでした。

当日、「5人以上でグループをつくって、好きなように作ってみよう」の声かけで、5つのグループができ、車3台分のダンボールをルームいっぱい広げ、製作開始。

窓やドアを作るのはもちろん、大黒柱(子どもたちいわく)を作ったり、煙突をつけたり、壁いっぱいにお菓子の絵を描いたり、家の中に懐中電灯をぶら下げたり...指導員は、ただただ感心させられるばかり。

~ダンボールの基地~

入り口はどこ?というような迷路のようなもの、モンゴルのパオのようなもの、大人でも4~5人は入れそうな大きな屋根つきのものなど様々でしたが、子ども達のアイデアがいっぱい詰まったステキな基地・お家が完成、子ども達も大満足といった様子でした。

2日目、終了間際に「こわしたくな~い」「一週間くらいやろうよ」の声も多く出たのですが、「また今度やろうね」ということで納得してもらい、片付けも無事終了することができました。(どの作品も、ずっと残してあげたかったです。ホントに...)

ルーム中、ダンボールだらけで多少不自由もしましたが、子ども達のいきいきした顔が、なんともうれしい2日間でした。

またやろうね!

4年生以上の入所や大規模ルーム

などについて児童家庭課長と懇談

2月20日(水)午前8時50分から約1時間、児童家庭課と懇談を行いました。出席者は市から植草児童家庭課長・渡部課長補佐、市連協から細田会長、山口・鈴木・小松崎各副会長でした。懇談の内容は1月18日付市長あての申し入れに基づいて行われたものです。

懇談の主な内容は以下のとおりです。紙面の関係で2回に分けて掲載します。

〔1〕4年生以上の入所問題については、昨年12月20日付厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課長の通達を受けて船橋市としてどのように具体化する予定かを聞きました。

市連協側は4年生以上を受け入れて欲しいというのは公設公営への移行当時から私たちが望んでいた。また来年から学校5日制になることから4年生以上入所の要望が高まっている。今回、厚生労働省の通達が出ていることはそれを実現する絶好の機会である。具体的には条例の「1～3年生」を改めて4年生以上も対象とすることによって、これをすすめる根拠もできると述べました。

これに対して市は、「今年は(入所希望が多く)1～3年生を入れるのも大変である」「当面は55小学校区(4月から53ルーム)での設置と待機児童対策が基本であり、4年生以上の入所を条例化することは考えていない」との回答でした。さらに「定員に余裕のあるルームは市広報で再募集してほしい」との要望についても「あくまで1～3年生が基本である」との態度で再募集をするつもりはないと回答しました。

〔2〕小栗原・習志野第一で80人定員のルームができるが、人数的に多すぎ、分割して適正規模にしてほしいと要望しました。

市は、「1人当たり概ね1.5㎡の計算で120平方メートルで80人定員とした。ただ80人になるかはわからない。多いという意見もあるが待機児童を出さないというのも大切だ。また人数が多いとだめだということでもない」「指導員は非常勤職員3名と児童40名以上で10名をこえるごとに1人の臨時指導員を配置する」とのべました。

市連協は制度移行する前から30人を定員として、希望者が多い場合は増設するという要望を出している。これは指導員が把握できる子どもがほぼ30人であるという経験からきている。他市では、70人以上の入所児童がいたがその後20人近くやめてしまったという例もある。80人定員そのものについては、一定期間の後、保育のあり方がどうなのか指導員・保護者の意見も聞いてその状況を検証してほしい、と要望しました。市側も検証する必要性を認めました。

<次号に続く>

地域のもちつき大会に参加

海神南放課後
ルーム父母会

12月16日(日)に、父母会ではじめてのもちつき大会を行いました。といってもまだスタートして2年目の父母会なので、今回は会員の方が住むマンションの自治会で毎年行っているもちつき大会に父母会として参加させていただきました。

晴れた空のもと、11世帯16人(幼児を含む)の子どもたちが、おもちをついたり、丸めたり、つきたてもおもちをほおぼったりと、とても楽しいひと時を過ごしました。

父母も自治会の方々といっしょについた、おいしいおもちを食べながら、話はずみ、交流を深めること

ができました。子どもたちの笑顔と満腹な顔は、本当に最高でした。

父母会の動き

小栗原放課後ルーム父母会で

学童まつりを開催

小栗原放課後ルームは入所児童数が多く、来年度希望者は全員入れるのか、2年生の父母にとって切実な心配です。父母会でも独自に市に、希望者が全員入れるよう要望してきました。父母会行事としては、2月23日(土)午前中、学童まつりを行います。当日は、伝統のコマ回しやドッジボールなど、親子で楽しみにしています。(次号のニュースで紹介します)

南本町放課後ルーム父母会どろんこクラブでは、3月10日に、恒例の“春を呼ぶ大バザー”を通称赤土広場で行います。

法典放課後ルーム父母会では、来年度の新入生歓迎会を4月20日に開催する予定で、現1年生の父母が中心になって準備が始まります。

古和釜なかよしクラブお楽しみ会開催のお知らせ

なかよしクラブの子どもたちやOBといっしょに楽しく遊び、古和釜・坪井学区内の子どもたちになかよしクラブを知ってもらおう場です。(子どもの参加費は無料です)

とき 3月3日(日)午前9時30分～12時30分

ところ 古和釜なかよしクラブ(古和釜中学校入り口)

内容 □食べ物 お餅・わたあめ

□手作り品 スライムほか

□プロのマジック 上演時間は約1時間30分

電話 047-464-1841(なかよしクラブ)